

# 大阪・関西万博の開催に向けたインフラ整備と 万博を契機とした賑わいづくり

2025年2月25日

近畿地方整備局長 長谷川 朋弘

# 大阪・関西万博に向けた取り組み

- 大阪・関西万博を控え、日本館の建設のほか、臨海部へのアクセスルート整備、港湾施設などの脱炭素化の推進、まちの賑わい空間整備の取り組みを進めています。
- また、来場者の円滑な輸送にむけた取り組みを、関係機関と連携し進めています。

## カーボンニュートラルポート(CNP)の形成



水素燃料電池船「まほろば」  
出典：2024年10月24日岩谷産業(株)プレスリリース



## シャトルバスのアクセスルート

## 夢洲周辺道路・橋梁の6車線化 ・交差点の立体交差化

【R.6.12 供用開始】



万博会場 (日本館) ※2月末完成予定



※藻類の魅力と可能性をハローキティが紹介

## 御堂筋のにぎわい創出 (側道の歩行空間化)



# 大阪湾臨海部アクセスの向上

○内陸部と臨海部を直結する新たなルート、淀川左岸線の全線整備により、阪神高速道路の定時性確保、物流の効率化とともに、臨海部開発の活性化が期待される。

## ■臨海部⇄内陸部の物流施設と物流ネットワーク



## ■阪神港と内陸部の混雑時、通常時の所要時間

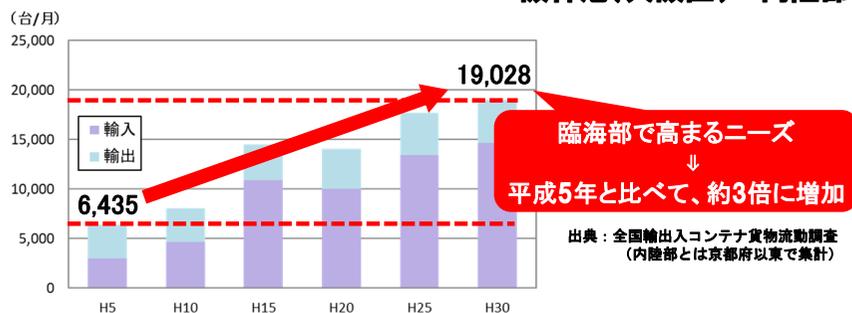
<枚方学研IC⇄湾岸舞洲>



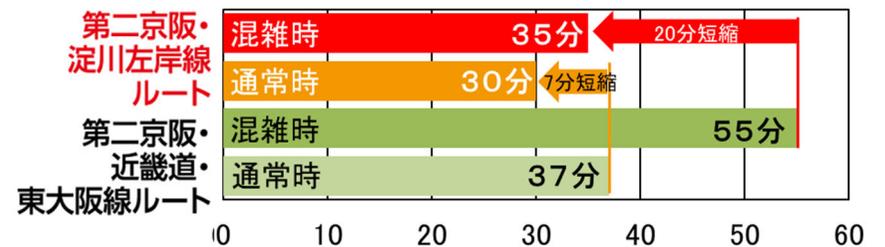
出典：臨海部・内陸部の物流施設 浪速国道事務所調べ

## ■輸出入コンテナ貨物量(陸送)の推移

< 阪神港(大阪区)～内陸部 >



出典：全国輸出入コンテナ貨物流動調査 (内陸部とは京都府以東で集計)



出典：国土交通省調べ プロローブデータ (R1.10平日) 枚方学研IC⇄湾岸舞洲

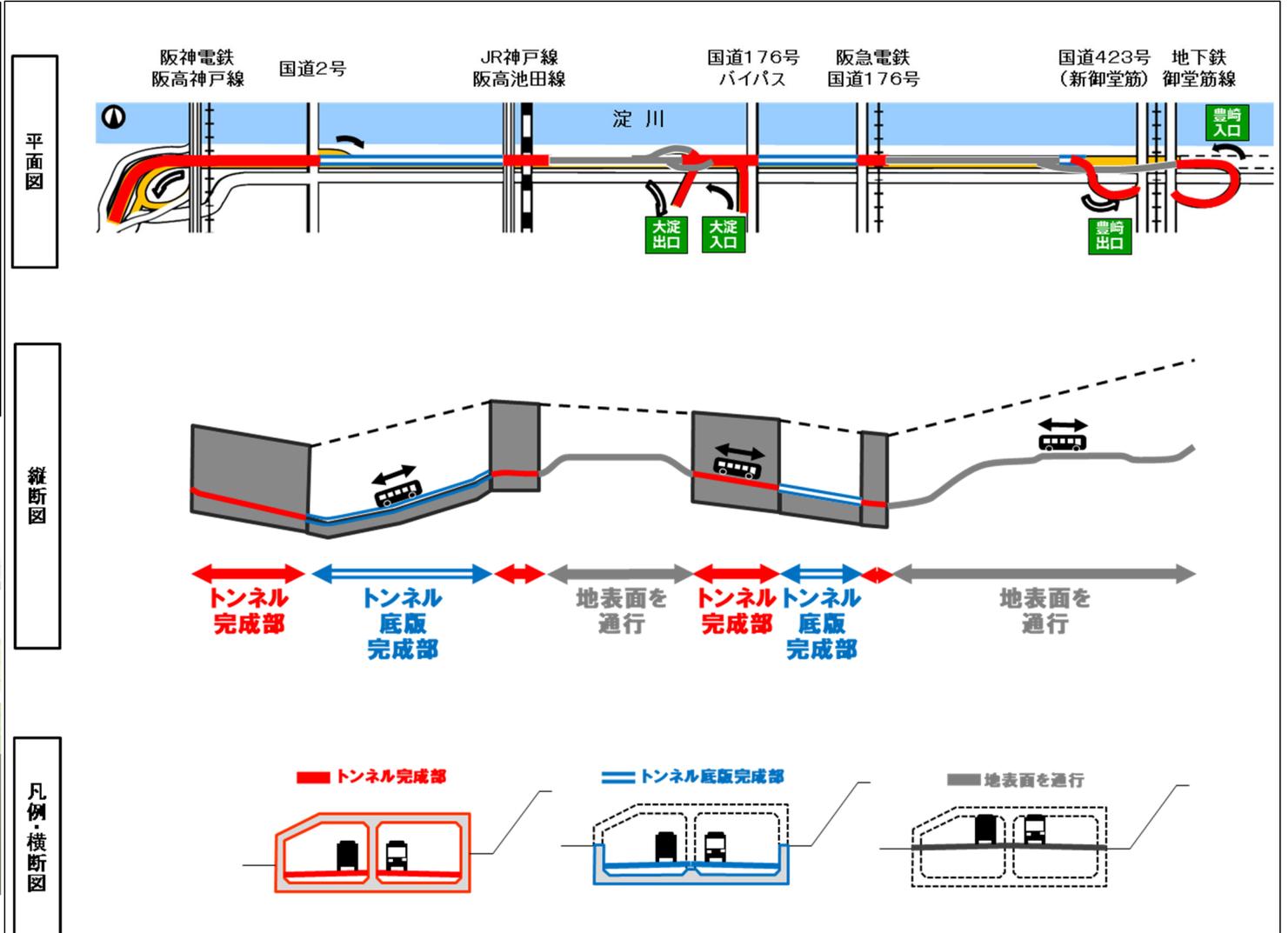
# 淀川左岸線(2期) 万博開催時の整備状況 (イメージ)

- 淀川左岸線 (2期) は、大阪都市再生環状道路の一部 (約4.3 km) を構成するものであり、令和14年度に供用予定。
- **万博開催期間中、区間毎に整備状況は異なるものの、淀川左岸線 (2期) は、新大阪駅や大阪駅と万博会場を結ぶシャトルバスのアクセスルートとして暫定的に活用される予定。**

【位置図】



【万博開催期間中における淀川左岸線 (2期) の暫定利用に向けた整備状況】



【淀川左岸線 (2期) 完成イメージ】

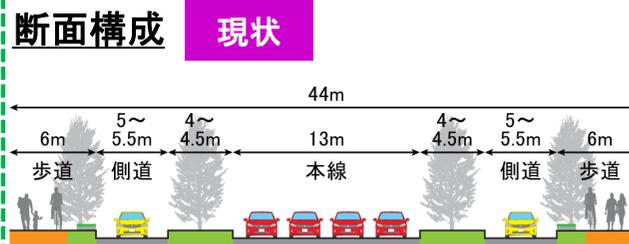


※区間毎に整備状況が異なるため、万博時には整備状況に応じた暫定利用を実施



- 御堂筋を人中心の空間に再編することで、世界に誇る“ストリート”へ転換。
- 万博までには、千日前通りから長堀通りまでの約1kmの完成を目指す。
- 万博後も、都心部全体の交通ネットワークの検討などを進めながら、フルモール化を目指す。

## ◇将来ビジョン実現に向けた取組



**【現状】**  
本線4車線、側道2車線



### 側道歩行者空間化



※寸法は概ねの距離を記述

### 【進捗状況】

- ・2025年大阪・関西万博までに、長堀通～千日前通約1kmの完成を目指す



### 全面歩行者空間化



# 淀川舟運活性化に向けた取り組み

- 万博の開催を契機として舟運を核とした淀川沿川のにぎわいづくりを目指し、沿川の関係機関が連携
- 万博開催後も「大阪IR」や「川の京都」を視野に淀川舟運による地域活性化を推進

## 【都市・地域再生等利用区域の指定】



### 十三かわまちづくりの推進

淀川区が公募した民間事業者により、上面整備を進めており、3月完成予定。



普段の枚方近辺の観光船



令和6年に復活した伏見航路

## 【万博にむけて、分断した航路を接続】

淀川大堰閘門整備  
3月末通行可能予定



明治時代の蒸気船の航行